

## 5. 睡眠時無呼吸検査(PSG)



### 睡眠時無呼吸症候群検査(PSG)とは？

PSGは、睡眠時無呼吸症候群の確定診断に必要な検査です。

1泊2日、もしくは、2泊3日の検査入院となり、寝ている間の呼吸状態を詳しく調べます。CPAP(シーパップ:経鼻式持続陽圧呼吸法)のマスクをつけて検査する場合があります。

#### 検査の受け方

この検査では、睡眠中の脳波や呼吸運動、血液中の酸素飽和状態を調べるために、頭や顔、身体にさまざまな電極やセンサーをつけます。また、電極をつけた後は移動範囲がベッドサイドのみとなりますので、装着前に夕食を終え、歯磨きやトイレを済ませていただきます。検査中はポータブルトイレを使用していただきます。就寝予定時間までは、起きあがって読書やテレビを見ていてもかまいません。飲水も可能です。

#### 気をつけること

- ・ 痛みなどはありませんが、検査時は電極をつけた状態で寝ていただきますので、少し違和感があるかもしれません。
- ・ 顎にも電極を装着するため、髭はなるべく剃ってきてください。
- ・ 睡眠中の記録が必要なので、軽く寝不足の状態でおいでください。